

病院が無いので予防に力を入れています。 健診の受診率は県内トップです。

西目屋村長
関和典

西目屋村民の健康はどのような状況ですか

平成26年11月16日に文化祭で老若男女すべての世代が揃ったときに健康宣言をしました。平均寿命は平成17年度の国勢調査のときは全国下位から50番内に入っていました。22年度は50番から抜けました。やはり医療機関が無い村なので二人ひとりが健康づくりに視点を置いて生活をしてもらいたいです。大人の方には健康診断を受けるよう促しています。受診率はどんどん上がっており、国保特定健診は平成20年度が37%で県内6番目だったのが、26年度には56%まで上がり県内2位まで上がりました。後期高齢者の健診受診率に関しては、平成23年度からは県内トップです。村の課題として、無医村がゆえ具合が悪くても簡単に病院受診ができないことや農村地区がゆえ、

農閑期になるまで受診しない傾向があります。なので、悪くなつてから病院に行くのではなく、毎年健診を受けて少しでも悪ければ早めに対処するという健康づくりを進めています。

子どもも大人も高齢者も、予防接種が無料なんですよ。

現在「予防活動」を推進していき、任意予防接種も含まれます。季節性インフルエンザのワクチン接種は他市町村だと65歳以上の高齢者から無料対象になりました。西目屋村では全村民を対象としています。最近では、死因第3位の肺炎でも65歳以上の全員を対象として村で助成しています。やはり、防げる病気があれば予防接種をして防いでもらおう、予防にお金をかけて村民に元気に過ごしてほしいという思いが「健康長寿で生涯現役の村づくり宣言」に繋がっています。

防災無線でラジオ体操を流しているそうですね。

村全体としてやれることとして、平成26年6月から防災無線でラジオ体操を流しています。午前10時と午後3時の1日2回です。他の市町村ではオリジナルの体操など作っているところもあるようですが、誰もができて体を動かせると思ったらラジオ体操しかないということが始まりました。村では無線機(防災無線の子機のようなもの)が全世帯にあります。ラジオの内容も面白くしたいと思います。吉幾三さんの声で「じっちゃ、ばつちや、体操だじゃ、体操」みたいな声掛けが入ってからラジオ体操が流れます。

歯科に関する条例もあるそうですね。

県内で一番早く歯科口腔に関する条例を作りました。口腔内には細菌が、糖尿病やリウマチの悪化を



がかからないようにしたいですね。地方創生の使命をもつて取り組んでいます。

西目屋村の観光整備についてお聞かせください。

現在、津軽ダムを中心に周辺の観光に力を入れ始めています。ダムは試験湛水のために水を溜めており、「満水ツアー」と称して満々と水を貯めたダムを見学することもできます。また、水陸両用バスを導入して湖にそのままバスで入れるように準備しています。最

初は話題を振りまくと思います。これを継続するためには工夫が必要です。いままでは白神山地にだいぶ頼ってきたので、これからは津軽ダムも加えて、下流域の乳穂ヶ滝や岩谷観音付近の「目屋溪」と呼ばれる場所一帯を、カヌーやラフティングなどのアクティビティ体験ができるようにしたいです。ただ歩いて帰るというだけの西目屋村でしたが、もっと長く居て体験して自然と触れ合ってもらい「西目屋村に來れば遊べる」という感覚で来てほしいですね。今流行りの「グランピング」も計画しており、手ぶらで西目屋に泊まりに来て、ベッドやソファがあるテントの中で少しリッチなキャンプを体験してもらいたいです。そのために、今年テントをそろえました。広いテントと、食事を提供するキッチンカーを設置して…など企画中です。「食う・寝る・遊ぶ」というのをテーマに、西目屋村の観光は今後進んでいくと思います。ぜひご期待ください。

※グランピングとは、グラマラス(glamorous)とキャンピング(camping)を掛け合わせた造語。ホテルや施設が提供してくれるテントに泊まる、キャンプ形式の宿泊スタイルです。

● 関和典 ● 西目屋村長
1967年生、現在49歳。2006年西目屋村長選挙に初当選。現在3期目。



● 井手麻実 ● インタビュアー
青森テレビアナウンサー。
担当番組は「わっしょい」月水曜日など。



ラジオ体操

